

千葉大学教育学部

学部案内

2025

Faculty of Education, Chiba University



千葉大学
CHIBA UNIVERSITY



未来を創る人を育てる



学ぶ楽しさを伝える教育者の養成

Learning is fun!



目次

学部長挨拶	01	コース紹介 乳幼児教育コース	14
教育学部の3つの特徴	02	” 養護教諭コース	15
学校教員養成課程 組織図	04	教育実習・学校教育体験	16
取得可能な免許状	05	活躍する卒業生	20
コース紹介 小学校コース	06	留学するには	21
” 中学校コース	08	卒業後の進路状況	22
” 小中専門教科コース	10	入試情報・過去の志願倍率	23
” 英語教育コース	12	関連組織・教育研究施設の紹介	24
” 特別支援教育コース	13		



転機を迎えつつある学校現場と大いに関わりながら、
新たな時代の教育を、ともに考え、ともに創っていこう

教育学部長 藤川 大祐



今、学校教育は大きな転機を迎えています。GIGAスクール構想による1人1台コンピュータ環境の実現、子どもたちが能動的に学ぶ「主体的・対話的で深い学び」や多様性を尊重した「個別最適な学び」の推進、教員の働き方改革や部活動の地域移行……ここ数年の間に、次々と大きな変化が起きています。

千葉大学教育学部は、150年の伝統を誇り、常に時代の最先端の教育のあり方を研究し、それぞれの時代に求められる教員養成教育を行ってきました。そして今、新しい時代の教育を担える人々を育てるために、学生諸君が深い教養と専門性を身につけるとともに、学校現場と大いに関わって実践的な力量を伸ばせるようにする教育を進めています。

現在、全国的に、意欲のある若い方々が多く教員と

なることが求められています。千葉大学教育学部では、千葉県教育委員会等と連携して、教員の働き方改革や若い教員の支援を進め、教員志望者が学校現場の実態を理解した上で安心して働けるようにする取り組みを進めています。学部内でも、教育学部同窓生で教員経験が豊富な方々に「特命教授」として学生諸君の進路相談に乗っていただいていることをはじめ、さまざまな取り組みを行っています。

千葉大学教育学部には、学部と近接し密接に連携している附属学校園、学校現場と密接に関わりながら教育・研究を進める教員、地域の教育委員会や学校との深い連携、独自の留学プログラム等の強みがあります。近未来の教育を担い、子どもたちのために貢献しようという志をもつ人を、私たちは求めています。

教育学部の 3つの特徴

学校現場の状況が変化している昨今、教員をめざす学生が教職課程で修得すべき内容は広がり、教員養成を行う大学にはそれに応じた創意工夫が求められています。千葉大学教育学部は、時代のニーズと変化に対応できる指導的立場に立つ教員の育成を目指し、令和元年度より小学校、中学校、小中専門教科、英語教育、特別支援教育、乳幼児教育及び養護教諭の7つのコースに再編しました。

1

教科・校種を越えた 複数の免許状の取得

- 校種によらない専門性と実技力が求められる音楽、図画工作・美術、保健体育、家庭科教育に関する小中専門教科コースでは、小学校教諭・中学校教諭両方の免許状を取得します。
- 小学校英語の指導力向上や国際理解教育等の必要性に対応できる学生を育てる英語教育コースでも、校種によらない専門性と実技力を身に付けることを目指し、小学校教諭・中学校教諭両方の免許状を取得します。



- 中学校コース（国語、社会、数学、理科、技術）では所属分野の教科の免許状に加えて、中学校他教科あるいは特別支援学校教諭二種免許状を第2免許として取得します。
- 特別支援教育コースでは特別支援学校教諭一種免許状に加えて、小学校教諭一種免許状を取得します。
- 乳幼児教育コースでは幼稚園教諭免許状に加えて、小学校教諭二種免許状を取得します。さらに保育士資格取得も推奨されます。
- 小学校コースや養護教諭コースでも、他の免許状取得が推奨されます。



3

- 1年次の新入生セミナーの中で、さらに、小学校・中学校・小中専門教科・英語教育の各コースでは授業研究入門の中で、附属学校園見学を行います。
- 学部に隣接する附属幼稚園・附属小学校・附属中学校を行き来する授業や、低学年児童との交流を行う授業も履修できます。
- 学校でのニーズの高い、小学校英語教育、小学校での教科外活動、特別支援教育、国際理解教育の各方面の力をつける大学独自の科目群が用意されています。

広範囲にわたる基礎科目のほか、

実践力と応用力をつける

多数の授業科目

2

充実した教育実習と

学校教育体験

- 4年間を貫く必修の教育実習プログラムが用意されています。
- 希望により選択可能なセレクト実習も履修できます。
- 選択で教育関係でのボランティア活動も単位が認定されます。



学校教員養成課程 組織図

学校教員養成課程

計 **380** 名

小学校コース	国語科選修	25名	計163名	⇒ P.6へ
	社会科選修	25名		
	算数科選修	25名		
	理科選修	25名		
	教育学選修	30名		
	教育心理学選修	25名		
	技術・ものづくり選修	8名		
中学校コース	国語科教育分野	8名	計42名	⇒ P.8へ
	社会科教育分野	7名		
	数学科教育分野	10名		
	理科教育分野	10名		
	技術科教育分野	7名		
小中専門教科コース	音楽科教育分野	15名	計70名	⇒ P.10へ
	図画工作・美術科教育分野	15名		
	保健体育科教育分野	25名		
	家庭科教育分野	15名		
英語教育コース		35名		⇒ P.12へ
特別支援教育コース		25名		⇒ P.13へ
乳幼児教育コース		20名		⇒ P.14へ
養護教諭コース		25名		⇒ P.15へ

取得可能な免許状 (令和8年4月入学者)

※取得可能な免許状は、最新の教育学部案内などを必ずご確認ください。

小学校コース

- ・国語科選修
- ・社会科選修
- ・算数科選修
- ・理科選修
- ・教育学選修
- ・教育心理学選修
- ・技術・ものづくり選修

卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- ・小学校教諭一種

中学校コース

- ・国語科教育分野
- ・社会科教育分野
- ・数学科教育分野
- ・理科教育分野
- ・技術科教育分野

卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- ・中学校教諭一種(所属分野の教科)
- ・中学校教諭二種(所属分野以外の教科)
または特別支援学校教諭二種

小中専門教科コース

- ・音楽科教育分野
- ・図画工作・美術科教育分野
- ・保健体育科教育分野
- ・家庭科教育分野

卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

A選択

- ・小学校教諭一種
- ・中学校教諭二種
(所属分野の教科)

B選択

- ・小学校教諭二種
- ・中学校教諭一種
(所属分野の教科)

特別支援教育コース

卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- ・特別支援学校教諭一種(知的障害・肢体不自由・病弱)
- ・小学校教諭一種

乳幼児教育コース

卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- ・幼稚園教諭一種
- ・小学校教諭二種

英語教育コース

卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

A選択

- ・小学校教諭一種
- ・中学校教諭二種(英語)

B選択

- ・小学校教諭二種
- ・中学校教諭一種(英語)

養護教諭コース

卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- ・養護教諭一種

全コース・分野等共通

所定の単位を修得することで取得可能な教員免許状

- 幼稚園教諭一種・二種
- 小学校教諭一種・二種
- 中学校教諭一種・二種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語)
- 高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、家庭、工業、英語)
- 特別支援学校教諭一種・二種(知的障害・肢体不自由・病弱)
- 養護教諭一種

取得可能な資格

- 社会教育士(社会教育主事養成課程)
- 学芸員
- 図書館司書
- 保育士(乳幼児教育コースのみ)

必須ではない教員免許状取得の推奨の例

- 小学校コースでは中学校・高校各教科、幼稚園、特別支援学校の免許状取得を推奨
- 養護教諭コースでは中学校・高校保健の免許状取得を推奨
- 中学校各教科の一種免許状の取得者には、その教科の高校免許状取得を推奨
- 乳幼児教育コースでは保育士資格取得を推奨

小学校コース

英語や道徳にも自信を持って対応できる教員を目指す



●このコースでは、国語科選修、社会科選修、算数科選修、理科選修、教育学選修、教育心理学選修、技術・ものづくり選修に分かれて学習し、全ての教科に対応できる力を身に付けることはもちろんのこと、その中でもとくに一つの教科に強みを持った小学校教員の養成を目指します。

●英語を現場で自信を持って教えることができるよう、必修科目である「小学校英語」「小学校英語科教育法」等に加え、小学校英語指導実践に関する科目や小学校英語教育探究科目など、小学校英語に関する科目が多数用意されています。

●道徳に関する科目や、現代的な教育課題に対応する科目も豊富に用意され、興味関心に応じて履修することができます。



国語科選修

ことばの持つ豊かな力を常に意識して児童と向き合い、ことばの学びをひらく新しい国語教育を担う教員の養成を目指しています。国語教育の理論と実践に関する科目を中核として、日本語や文芸に関する専門性を指導に活かせる力を身に付けます。

社会科選修

社会科の教科内容に即した専門的な授業を履修するとともに、博物館・資料館などの公共施設の訪問や卒業論文の執筆を通して、社会に関する理解を深めます。さらに、附属小学校の授業を観察し、授業開発能力を鍛えます。

算数科選修

小学校の先生でも数学に強い教員になることを目指し、高校数学を発展させた微分積分や線形代数、さらには算数・数学を論じるための数学的基礎となる集合・写像・順序などを履修します。多くの学生は中学校教諭（数学）一種免許状も取得して小中の接続に配慮して指導できる教員として卒業します。

理科選修

自然の不思議や科学の面白さ・大切さを伝えることができる教員の養成を目指しています。理科の授業研究や、生命と地球、物質とエネルギーの授業や卒業論文を通して、観察・実験、科学的なものの見方の素養を深め、理科に強い小学校教員として卒業します。

教育学選修

子どもたちがICTを活用して主体的に学ぶことのできる授業づくり、道徳・特別活動・生活科や総合的な学習の時間の指導方法、地域に開かれた学校づくり、いじめや不登校、非行・虐待の問題に対処する方法、教育政策、教育行財政のあり方などを総合的に学びます。

教育心理学選修

教科の枠組みにとらわれず子どもがかかえる心の問題に広く対応できる人材の養成を目指しています。児童の発達や学習に対する科学的な研究方法を土台に、生徒指導、教育相談、学習指導などに関して実践的に考える力を身に付けます。

技術・ものづくり選修

手を動かし「もの」をつくるのが、子どもの知能の発達と密接な関係を持つことはよく知られています。この選修では、授業ばかりでなく、学級活動や学校行事も含めた教育活動全体を通して、技術的なものづくりの教育的価値を追究します。さらに、技術的なものづくりにかかわる基礎的な教養を身につけて、全人的な教育・指導のできる教員の養成を目指します。

学外

学校教育体験

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅳ（選択）
- 3年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
- 2年次 教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
- 1年次 小学校セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）

※学校インターンシップ基礎実習は、2年次以降に行う。

教育実習

- 4年次 教育実習総合討論／副専攻実習
- 3年次 コア実習／介護等体験／
フォロー・アップ実習
- 2年次 プレ実習
- 1年次 スタート・アップ実習

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

学内

小学校教科及び教科の 指導法に関する科目

全ての教科について、自信を持って教える力を身に付けます。

- 各教科の指導法（10教科）
- 教科に関する専門的事項（9教科）

学校及び教育の 諸課題に関する科目等

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 通常学級における特別支援教育
- ICT活用教育の理論と方法
- 小学校英語実践
- 道徳教育の理論と方法
- 特別活動の理論と実際など

選修に関する科目

所属する選修の科目を得意科目にできるよう、深く学びます。

- ことばと文化
- 日本史概論
- 数学科の専門的基盤（代数）
- 物理学実験基盤
- 学級づくり実践演習
- 教育心理基礎演習
- ものづくり入門 など

専門基礎科目

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー
- 授業研究入門 など

※このほかに、普遍教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

授業紹介

児童発達心理学

教育活動に不可欠な子どもの心の発達について学びます。特に、子どもが社会の中で生きていく上で重要な自己や他者の心の理解、ことば、対人関係に焦点をあて、その発達プロセスについての理解を深めてもらいます。

小学校算数科教育法

算数科の問題解決やその授業を体験したり、今後の教育の目標を教材として具体化したり、教科書や学力調査をもとに児童の反応を予想したりすることを通して、算数科教育を実践していく力を身に付けていきます。



学生メッセージ

小学校コースは、教育に関して幅広い学びを展開し、身につけたい力に合わせて科目を履修することができます。また、各選修で専門的な学びも展開しています。私が所属している算数科選修では、現代の児童が直面している算数科の課題への対応を、模擬授業をはじめとする実践を交えながら学ぶことができます。1年次から充実した実習を行うことができ、児童や現場の先生と関わりを広げられます。3年次のコア実習ではそれまでの経験を活かしながら、児童に向き合うことができたと感じています。4年次の教員採用試験に向けての対策では、先生方が1人ひとりに向き合ってくれました。また、学生同士では、合格を目指して、選修の垣根を越え、互いに高め合うことができたと思います。4年間を通して、小学校教員になるために、充実した学生生活を送ることができました。

学校教員養成課程小学校コース算数科選修
【出身高校】私立流通経済大学付属柏高等学校

西郡 由衣（千葉県出身）



中学校コース

教科の高い専門性を持ち他教科との連携も視野に入れた教員を目指す



●このコースでは、国語科教育分野、社会科教育分野、数学科教育分野、理科教育分野、技術科教育分野に分かれ、少人数教育による学習を進めることにより、高い専門性を持った中学校教員を養成します。

●専門とする教科の中学校教諭一種免許状のほかには他教科の中学校教諭二種免許状または特別支援学校教諭二種免許状を取得することで、社会のニーズに応え現代的な課題に対応できる教員を目指すことができます。

●教科の内容と教育法との横断的な科目が用意されており、少人数制を活かしながら実践的に教える力を身に付けることができます。



国語科教育分野

日本のことばや文芸・文化に興味・関心を持ち、現場において教育実践をリードするための行動力と協調性を兼ね備えた教員の育成を目指しています。本作りなどの活動や、学生参加型の討議・発表する活動を多く取り入れた授業が展開されています。

社会科教育分野

歴史学、地理学、法律学、政治学、社会学、経済学、哲学の各専門科目を学んで専門的知識を深めるほか、社会科教育学として授業のあり方を学んでいきます。社会に対して興味・関心を持ち、それらについて専門分野から探求を深めていくことが期待されます。

数学科教育分野

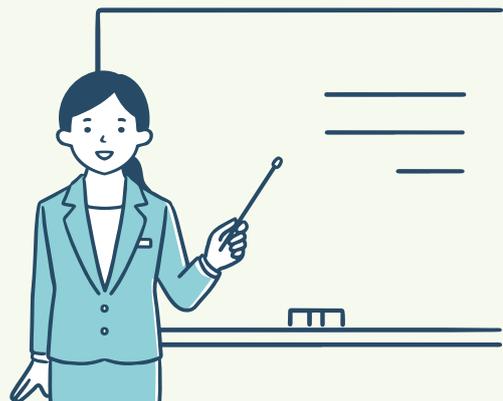
代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学、数学教育学について様々な講義が開設されています。どの科目も基礎的なところから高度な内容まで学習します。また、コンピュータと関連した数学の学習も進めています。

理科教育分野

自然科学と理科教育の講義やセミナーに加え、自然科学の様々な分野の実験・実習を開設しています。フレッシュな思考と情熱で、自然科学の面白さを青少年に伝える意欲と能力を備えた仲間を一人でも多く増やしていきたいと考えています。

技術科教育分野

技術科ではものをつくることを通して知識と行動を結びつけることを大切にします。具体的なものを対象とする際の裏づけとなるテクノロジー（技術の科学）を学び、それを技術科の教育の実際にどう展開するかを考えていきます。



学外

学校教育体験

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅳ（選択）
 - 3年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
 - 2年次 教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
 - 1年次 中学校セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）
- ※学校インターンシップ基礎実習は、2年次以降に行う。

教育実習

- 4年次 フォロー・アップ実習／
教育実習総合討論／副専攻実習
 - 3年次 コア実習①／コア実習②／介護等体験
 - 2年次 プレ実習
 - 1年次 スタート・アップ実習
- ※特別支援学校教諭二種免許を第2免許として選択する場合、この他に、障害児教育コア実習があります。

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

学内

所属分野の教科及び教科の指導法に関する科目

所属する分野の教科について、自信を持って教える力を身に付けます。

- 教科の指導法
(国語科教育実践研究、社会科教育概論、数学科教育法基礎、理科教育課程論、技術科教育法 など)
- 教科に関する専門的事項
(日本の古典を読む、人文地理学特講、代数学、物理学演習、電気磁気学 など)

学校及び教育の諸課題に関する科目等

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。生徒の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 特別支援学級の子どもの理解と支援
- 教育英語
- 発達と学習の心理学
- メディア社会と学校教育
- 実践から学ぶ教職論 など

第2免許に関する科目

第2免許の科目について「指導法」と「教科内容」を学びます。

- 教科の指導法
 - 教科に関する専門的事項
- ※特別支援学校教諭二種免許を第2免許として選択する場合は、特別支援教育に関する科目を学びます。

専門基礎科目

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー
- 授業研究入門 など

※このほかに、普遍教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

授業紹介

社会科・公民科教育演習Ⅰ

小・中・高の社会科・公民科を対象に、授業づくりのための目標・内容・方法・評価について学修したり、論文を読んで社会科の授業実践のあり方を受講生と共に議論したりしています。



教育基礎論

教育とはどのようなものなのかについて、思想・歴史から読み解きます。これにより、現代の学校教育等が抱える課題に対応するために求められる、教育についての考え方を深めます。



学生メッセージ

教育学部中学校コースは、教育に関する学びに加え、専門科目の充実した学習を進めることができます。教育に関する学びについては、他教科の学生と意見交流をしたり、模擬授業を行ったりなどの、学生が主体となった活動に加え、現職の先生方からお話をいただいたり、実際に学校に訪問をしたりなどの貴重な経験を得ることができます。また、教育実習は附属中学校で行い、熟練の先生方から手厚い指導を受けることができます。専門科目は、学科が少人数であることから、授業担当の先生方から直接指導を頂けること、模擬授業や実験等の一人一人の実践に時間が取れることなど、教科の専門性を高める活動が充実しています。少人数だからこそ切磋琢磨しあえる仲間ができて、日ごろから意見を交わしたり教員採用試験の対策を共に行ったりできることにも、私はとても魅力を感じています。



学校教員養成課程中学校コース理科教育分野
【出身高校】千葉県立船橋東高校
横倉 あかり（千葉県出身）

小中専門教科コース

高い専門性を活かし小中の連携も図ることができる教員を目指す



- このコースでは、小学校及び中学校で専門性が求められる教科である音楽、美術（図画工作）、保健体育、家庭科に特化して、高い実技力や専門性を有する小学校及び中学校教員を養成します。
- A選択では、小学校教諭一種免許状と所属する教科の中学校教諭二種免許状、B選択では、所属する教科の中学校教諭一種免許状と小学校教諭二種免許状を、それぞれ取得することができます。
- 小学校と中学校との有機的な連携を図り、教科の専門性を身に付けつつ、複合的な視野を持った教員を目指すことができます。



音楽科教育分野

音楽的専門性の高い授業や実践場面を想定した授業などを通して、音楽のよさを体験し教員としての専門性を高めることができます。個別指導や集団でのアンサンブル活動、日本の楽器に触れる授業など、特色ある授業も多く展開し、音楽教育者として様々なニーズに応え得る人材の育成を目指します。少人数によるきめ細やかな指導が最大の特長といえるでしょう。

保健体育科教育分野

児童・生徒にスポーツ等の運動実践を通してからだを動かすことの楽しさを実感させるとともに、他者との交流の中での豊かな人間形成に寄与し、学校現場の様々な課題に即応して優れた問題解決能力を発揮する教員の養成を目指しています。そのための専門的な知識、技能、実践的指導力を講義、実技、宿泊を伴う実習を通して身に付けます。

図画工作・美術科教育分野

子どもたちが創造的に表現する喜びを感じる授業実践ができる教員の育成を目指しています。絵画や彫刻、デザインや工芸、美術史や美術理論、そして美術教育論などを幅広く学習します。基礎から発展へと積み重ねられたカリキュラムによって、それぞれの興味に従って学ぶことができ、自らの専門性を高めていきます。

家庭科教育分野

家庭科が学びの対象とする生活の諸問題は、多元的で重層的な構造をしています。家庭科教育分野では、自分自身の生き方から地球環境にまで及ぶ人間の生活全般を、文化的、社会的、科学的な幅広い視野で学びます。講義や演習に実験・実習的な内容も組み込まれ、内容や授業形態のバランスに配慮したカリキュラムが展開されています。



学外

学校教育体験

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅳ（選択）
- 3年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
- 2年次 教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
- 1年次 セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）

※学校インターンシップ基礎実習は、2年次以降に行う。

教育実習

- 4年次 B選択 フォロー・アップ実習（中） /
教育実習総合討論 / 副専攻実習 /
A選択 コア実習（中） / B選択 コア実習（小）
- 3年次 A選択 コア実習（小） / A選択 フォロー・アップ実習（小） /
B選択 コア実習（中） / 介護等体験
- 2年次 A選択 プレ実習（小） / B選択 プレ実習（中）
- 1年次 スタート・アップ実習

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

学内

所属分野の教科及び教科の指導法に関する科目

所属分野の教科の「指導法」と「専門的事項」を学び、教科について、自信を持って教える力を身に付けます。

- 教科の指導法
（音楽科教育法、美術科教育実践研究、保健体育科教育、家庭科授業論 など）
- 教科に関する専門的事項
（合唱、絵画実習、運動方法実習、食生活論 など）

学校及び教育の諸課題に関する科目等

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童・生徒の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 特別支援学級の子どもの理解と支援
- 教育英語
- 発達と学習の心理学
- メディア社会と学校教育
- 実践から学ぶ教職論 など

小学校教科及び教科の指導法に関する科目

小学校の各教科について自信を持って教える力を身に付けます。

- 各教科の指導法（10教科）
- 各教科に関する専門的事項（9教科）

専門基礎科目

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー
- 授業研究入門 など

※このほかに、普遍教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

授業紹介

小学校音楽科教育法

小学校の音楽科の授業の目標や内容、教材、指導方法等についての理解を深め、小学校音楽科の指導案が作成できるようになることを目指す授業です。音楽の実技の活動を随時取り入れ、小学校音楽科の授業を実践するために必要な音楽の基礎的な知識と技能を習得します。

小学校家庭科教育法

家庭科は小学生がよりよい生活をつくっていくことを支える教科です。そのために、家庭科で何をどのように指導するのか、基礎的な知識やスキルを学び、授業づくりを行います。被服実習や調理実習では、実践的に理論を学びます。児童が楽しんで家庭科を学べるような指導力育成を目指しています。

学生メッセージ

小中専門保健体育科は、学業と部活動の両立に励む学生が多く、教授や先輩・後輩との繋がりが強い学科です。しかし、私のように部活やサークルに入らない学生もいます。そんな学生でも、授業内で先輩や後輩と関われるので、学科が安心できる居場所になります。授業では、小学校科目＋保健体育理論を座学で学びつつ、専門性の高い教授のもとで技能も高めます。後輩に対して先生の立場で指導をする基盤の授業や宿泊実習、附属小・中学校で教育現場の様子を体験的に学べることが体育科の魅力だと感じます。他にも、異なる専門性を持った学生と関わる機会に新たな気づきが得られたり、小中高（専門教科）の三つの免許を在学中に取得しやすかったりするとこのコースの魅力でもあります。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



学校教員養成課程小中専門教科コース保健体育科教育分野
【出身高校】長野県須坂高等学校
持田 朱璃（長野県出身）

英語教育コース

国際的な視野を持った英語教育のリーダーとなれる教員を目指す

- このコースでは、即戦力人材として小学校教員、中学校教員または高校教員となって、子どもたちの英語力を高め、国際感覚を養うことのできるリーダーを養成します。
- 1年次から継続して行われる英語トレーニングの授業と留学や海外研修などにより、自らの英語力の向上を目指すのはもちろんのこと、多様な授業科目により小学校及び中学校、高校で英語を教える力を磨き、さらに国際理解教育に強い関心と意欲を持つ教員を育成します。
- A選択では小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状（英語）、B選択では小学校教諭二種免許状と中学校教諭一種免許状（英語）をそれぞれ取得することができます。またA選択、B選択いずれも希望により、小学校教諭一種、中学校教諭一種（英語）の免許状の取得ができ、さらに高等学校教諭一種（英語）の免許状も取得できます。

学外

学校教育体験

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅳ（選択）
- 3年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
- 2年次 教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
- 1年次 セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）

※学校インターンシップ基礎実習は、2年次以降に行う。

教育実習

- 4年次 B選択 フォロー・アップ実習（中）／教育実習総合討論／副専攻実習／A選択 コア実習（中）／B選択 コア実習（小）
- 3年次 A選択 コア実習（小）／B選択 コア実習（中）／介護等体験／A選択 フォロー・アップ実習（小）
- 2年次 A選択 プレ実習（小）／B選択 プレ実習（中）
- 1年次 スタート・アップ実習

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

学内

中学校教科及び教科の指導法に関する科目

英語学、英語文学、英語コミュニケーション、異文化理解の枠組みから、中学校、高校教員として必要な専門知識をバランスよく学んでいきます。

- 英語学概論 ●応用言語学 ●英語文学概論
- English Communication ●Writing I
- Understanding Other Cultures : Basic
- Understanding Other Cultures : Advanced
- Presentation & Discussion など

学校及び教育の諸課題に関する科目等

小学校英語教育や国際理解教育など、専門性の高い、現代的な課題について学びます。また、インクルーシブ教育、児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 第二言語習得理論 ●小学校英語特論
- 通常学級における特別支援教育
- 特別活動の理論と実際 など

小学校教科及び教科の指導法に関する科目

外国語を含めたすべての教科について、専門性を高め、自信を持って教える力を身に付けます。

- 各教科の指導法（10教科）
- 教科についての専門的事項（9教科）

専門基礎科目

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー ●授業研究入門 など

※このほかに、普遍教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

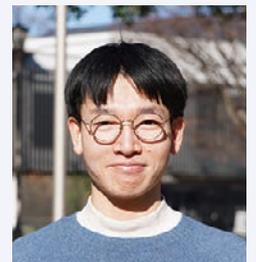
授業紹介

発音トレーニング

英語教師として手本となれるよう、英語の発音を基礎から学ぶ授業です。英語と日本語の発音の違いについて知り、自分の発音を修正する力を身に付けます。さらに、英語らしいリズム、イントネーションを練習します。

学生メッセージ

ようこそ、英語教育コースへ！英語教育コースには1学年約40人が在籍しており、高校の1クラスのような温かい雰囲気の魅力です。少人数ならではの距離の近さがあり、すぐに同期と仲良くなることができます。また、先輩・後輩との“縦”のつながりも強く、学年間の交流やイベントが盛んで充実した時間を過ごせます。授業では、1年次から「発音トレーニング」で英語の正しい発音を学んだり、2年次からは「小学校英語実践」を履修したりして、実際に小学校で授業を行う経験ができます。教育実習に出る前に実践的な力を養えるため、自信を持って教壇に立つ準備ができます。私自身、勉強やサークル活動、進路の相談など、仲間や先輩に支えられながら、充実した学生生活を送っています。英語教育コースは、皆さんの挑戦を全力でサポートします。



学校教員養成課程英語教育コース
【出身高校】静岡県立浜名高等学校
山本 景大（静岡県出身）

特別支援教育コース

特別な支援を必要とする子どもの教育を実践できる人材の育成を目指す

- このコースでは、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）の教育を担える教員を養成します。また社会が大きく変化中、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒が増えていることから、特別支援学校での教育だけでなく、小学校・中学校等の特別支援学級や通級指導教室、通常学級での教育も担えることを視野に入れた専門的知識、技能を身に付けます。

学外

学校教育体験

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅳ（選択）
- 3年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
- 2年次 教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
- 1年次 セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）

※学校インターンシップ基礎実習は、2年次以降に行う。

教育実習

- 4年次 教育実習総合討論／副専攻実習
- 3年次 障害児教育フォロー・アップ実習／
障害児教育コア実習／
基礎資格実習（小）
- 2年次 障害児教育プレ実習
- 1年次 スタート・アップ実習

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

学内

小学校教科及び教科の 指導法に関する科目

全ての教科について、自信を持って教える力を身に付けます。

- 各教科の指導法（10教科）
- 教科に関する専門的事項（9教科）

専門基礎科目

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー
- 日本国憲法 など

学校及び教育の 諸課題に関する科目等

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 通常学級における特別支援教育
- 教育英語
- 小学校英語実践
- 道徳教育の理論と方法
- 特別活動の理論と実際 など

特別支援教育 に関する科目

特別な支援を必要とする子どもの教育を行うために必要な専門性を身に付けます。

- 特別支援教育の基礎理論に関する科目（「特別支援教育概論」）
- 心理・生理・病理に関する科目（知的障害心理・生理・病理、病弱心理・生理・病理など）
- 教育課程や指導法に関する科目（病弱教育学、肢体不自由教育学など）
- その他の科目（「LD等・重複教育総論」など）

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

授業紹介

知的障害心理検査法演習

同じ障害名であっても、児童生徒の実態やニーズは大きく異なります。この授業では、子ども達をよりよく理解し、教育するために必要な「検査」の考え方と実施方法を実践的に学びます。

肢体不自由心理・生理・病理Ⅰ・Ⅱ

体の動きが、どのような筋肉・関節・神経の働きに支えられているのかを確認した上で、一般的な乳幼児と肢体不自由児の姿勢・運動発達を学びます。また、肢体不自由児の「体の動かしにくさ」が、言葉や社会性など他の発達領域とどう関係するかについて、事例も交えながら考えます。

学生メッセージ

本コースでは、特別支援学校教諭を目指すための専門的知識にとどまらず、近年需要が増えている特別な支援を要する子供のニーズに対応できるよう、教育に関する幅広い知識を身につけることができます。私自身も特別支援学校と基礎免許の小学校に加えて、副専攻で中学校音楽科の、三つの免許取得を目指しています。3年次から始まるゼミでは、院生や長期研修生など、学年を越えた関わりの中で、専門的な学びを深めることができます。また魅力の一つに、教育実習やインターン実習など、学校現場での学びが豊富なことも挙げられます。実際に授業を行い、子供の成長を間近で感じたりする貴重な経験から、学校現場で求められる実践力や即戦力を高めています。仲間と支え合い、切磋琢磨し、充実した学生生活を送ることができる特別支援教育コースにぜひお越しください。



学校教員養成課程特別支援教育コース
【出身高校】千葉県立小金高等学校
宮武 柚衣（千葉県出身）

乳幼児教育コース

人生の基盤となる乳幼児期の教育を担い、幼保小の円滑な接続を実現する教員を目指す

- このコースでは、生涯にわたる人格形成及び学校教育の基礎としての乳幼児期の教育、ならびに乳幼児期の発達に関する専門的な理論・知識を学び、高度な実践力を養います。
- 乳幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を目指し、新たな教育的課題に積極的に取り組む姿勢と問題解決能力を有する教員を養成します。
- 幼稚園教諭一種と小学校教諭二種の免許状を取得します。保育士資格を取得することも可能です。

学外

学校教育体験

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅳ（選択）
- 3年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
- 2年次 教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
- 1年次 セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）

※学校インターンシップ基礎実習は、2年次以降に行う。

教育実習

- 4年次 フォロー・アップ実習／コア実習
- 3年次 フォロー・アップ実習／コア実習／プレ実習／介護等体験
- 2年次 スタート・アップ実習②
- 1年次 スタート・アップ実習①

保育実習

- 3年次 保育実習Ⅲ（施設実習）
保育実習Ⅱ（保育所実習）
保育実習Ⅰ（施設実習）
- 2年次 保育実習Ⅰ（保育所実習）

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

学内

領域及び保育内容の指導法・幼児教育に関する科目

保育内容の5領域について、それぞれの学問的な背景や基盤となる考え方や各領域のねらいや内容を踏まえた保育内容の指導法を学びます。幼児教育に関する専門的知識や実践力を身に付けます。

- 領域に関する専門的事項 7科目 ● 保育内容の指導法 8科目 ● 保育・幼児教育学概説 ● 保育・幼児教育研究法 ● 発達心理学 ● 発達心理学実験 ● 保育・子育て支援実践演習 など

小学校教科及び教科の指導法に関する科目

幼児期からの発達や学びの連続性を踏まえ、小学校の各教科の内容や指導法を幅広く身に付けます。

- 教科に関する専門的事項 5教科 ● 各教科の指導法 10教科（選択）

専門基礎科目

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー ● 日本国憲法

保育士資格取得に関する科目

- 子どもの身体と健康 ● 子どもの食と栄養 ● 乳児保育 など

学校及び教育の諸課題に関する科目等

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 幼保小教育の連携と接続 ● 発達障害のある児童生徒と学級づくり ● 教育英語 など

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

授業紹介

子どもと表現Ⅰ（音楽表現）

幼児の音楽表現の発達や、環境構成、保育者の役割について、理論的理解と実践的音楽活動を通して学びます。表現の学びの連続性・集大成として、3年次に附属幼稚園で上演する創作ミュージカルに取り組む礎となります。

学生メッセージ

みなさんの将来の夢はなんですか？ 私は保育所の担任の先生に憧れ、保育者を志しました。授業の中で、乳幼児期の発達に関する専門的知識や、実際の事例から保育者の関わり方などを学び、保育者になりたいという思いがより強くなりました。また、インクルーシブ保育や幼小接続についても学び、子ども一人一人の特性に合わせた保育や子ども達の成長を見通した保育をしたいと思うようになりました。

乳幼児教育コースでは、幼稚園、保育所、児童福祉施設等で多様な実習を行います。実習は大学での学びの実践の機会であるとともに、新たな自己課題を見つける機会にもなります。その課題に自分なりに向き合い、次の実習でさらに取り組む過程に自身の成長を感じています。

自分の夢の実現を目指し、子どもと保護者を支えることのできる保育者になれるよう学びを深めていきたいと考えています。



学校教員養成課程乳幼児教育コース
【出身高校】新潟県立新潟南高等学校
市橋 萌未（新潟県出身）

養護教諭コース

児童・生徒の成長を心と体の両面から支える教員を目指す

- このコースでは、発育・発達段階に応じた児童・生徒の健康と成長を支援できる専門性の高い養護教諭を養成します。とくに、養護教諭は児童・生徒との関わりや教職員との連携が重要であることから、様々な活動や体験を通して教養豊かで社会常識を持ち、豊かな感性と柔軟なものの見方、コミュニケーション能力を身に付けた養護教諭を目指します。
- 小学校・中学校での実習に加え、千葉大学医学部附属病院での臨床実習を行うことで、医療や介護の活動や役割を学び、実践力を身に付けます。
- 養護教諭一種免許状に加え、わずかな追加単位で中学校教諭一種（保健）、高等学校教諭一種（保健）の免許状を取得できます。

学外

学校教育体験

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅳ（選択）
- 3年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
- 2年次 中学校セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
- 1年次 小学校セレクト実習（選択）
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）

※学校インターンシップ基礎実習は、2年次以降に行う。

教育実習

- 4年次 コア実習／フォロー・アップ実習／
教育実習総合討論／副専攻実習
- 3年次 プレ実習／介護等体験／臨床実習
- 2年次 スタート・アップ実習②
（保健室参観と健康診断実習）
- 1年次 スタート・アップ実習①

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

学内

養護教諭としての活動の 基礎や実践に関する科目等

養護教諭としての活動を自信を持って行える力を身に付けます。

- 3年次（保健指導の理論と実際、養護活動特別演習、健康相談活動、眼科学、耳鼻咽喉科学、皮膚科学、学校救急処置活動、学校看護実習など）
- 2年次（衛生学及び公衆衛生学、養護実践学概論、養護活動演習、精神保健学、小児科学、外科学・整形外科学、養護教諭と看護など）
- 1年次（小児保健学、学校保健、解剖学、人間機能学、微生物学など）

学校及び教育の 諸課題に関する科目等

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童・生徒の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 2年次以後（道徳教育の理論と方法、特別活動の理論と実際、教育方法・技術、生徒指導・教育相談の理論と実際、通常学級における特別支援教育、教育英語など）
- 1年次（教育基礎論、教職概論、教育制度と経営論、発達と学習の心理学、特別支援教育の理論と方法など）

健康教育に関する科目

養護教諭として健康教育を行う力や保健の授業を担当する力を身に付けます。

- 3年次（保健科教育演習、からだの学習、性教育）
- 2年次（健康教育論、環境と健康に関する学習）

専門基礎科目

大学の授業や実習に関する基礎等を学びます。

- 新入生セミナー ●医学概論
- 受胎・発育・成長 など

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

授業紹介

養護実践学概論

この授業では養護実践の基礎的な内容を学ぶとともに、「理想の保健室」を考えるグループワークを通じて、学びを実践に活用できる意欲と態度を身に付けます。「自己の理想の養護教諭像」を描くことを目指しています。

学生メッセージ

本コースでは、養護教諭として子どもと関わる上で必要な知識・技術、そして考え方を学ぶことができます。近年、子どもが抱える課題が多様化しており、それに伴い養護教諭に求められる仕事内容や能力も広がっています。本コースでは、実務経験豊富な先生や附属病院の医師など外部の専門家を招いた授業もあり、現場の貴重な声を直接聞くことができます。また、養護教諭コースだけの授業が多いため、同じコースの学生の仲が良いです。向上心が高く優しい人が多く、空き時間に集まって一緒に学んだり、放課後も残って互いに支え合いながら勉強に励んでいます。さらに、先生方や先輩方から、子どもと関わるボランティア活動などの情報を紹介していただくこともあり、授業以外でも経験を得ることができます。ぜひ、千葉大学で充実した4年間を共に過ごしましょう！



学校教員養成課程養護教諭コース
【出身高校】千葉県立小金高等学校
大橋 恵衣（千葉県出身）

教育実習・学校教育体験

教育学部では、「教育実習」と「学校教育体験」によって、実践力を高めていきます。

小学校コース

1年

スタート・アップ実習

- 附属小学校及び附属中学校において各1回
- 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます

2年

プレ実習

- 附属小学校または教育実習協力校において2日間
- 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、児童の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、児童との接し方を学びます

3年

コア実習

- 附属小学校または教育実習協力校において4週間
- 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や給食の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、小学校教員としての実践力を養います

介護等体験

- 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間
- 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します

3年

フォロー・アップ実習

- 実習校において1日間
- 実習校で行われる行事への参加を通して、学校という場を様々な面から捉え、理解を深めます

4年

教育実習総合討論

- 「教職実践演習」授業時
- 教育実習全般について総合的に振り返ります

(副専攻の本実習)

- 出身校または附属学校園において2～4週間
- 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います

中学校コース

1年

スタート・アップ実習

- 附属小学校及び附属中学校において各1回
- 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます

2年

プレ実習

- 附属中学校において2日間
- 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、生徒の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、生徒との接し方を学びます

3年

コア実習①・②

- 附属中学校において4週間（①第1・2ターム1週間+②第4・5ターム3週間）
- 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や掃除の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、中学校教員としての実践力を養います

介護等体験

- 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間
- 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します

4年

フォロー・アップ実習

- 附属中学校において1日間
- 3年生の実習授業の見学などを通して、教科の授業を評価的に見る眼を養うとともに、学校についての理解を深めます

教育実習総合討論

- 「教職実践演習」授業時
- 教育実習全般について総合的に振り返ります

(副専攻の本実習)

- 出身校または附属学校園において2～4週間
- 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います

小中専門教科コース及び 英語教育コース（A選択）

1年

スタート・アップ実習

- 附属小学校及び附属中学校において各1回
- 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます

2年

ブレ実習

- 附属小学校または教育実習協力校において2日間
- 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、児童の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、児童との接し方を学びます

3年

コア実習（小学校）

- 附属小学校または教育実習協力校において4週間
- 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や給食の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、小学校教員としての実践力を養います

介護等体験

- 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間
- 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します

3年

フォロー・アップ実習

- 実習校において1日間
- 実習校で行われる行事への参加を通して、学校という場を様々な面から捉え、理解を深めます

4年

コア実習（中学校）

- 附属中学校または教育実習協力校において2週間

教育実習総合討論

- 「教職実践演習」授業時
- 教育実習全般について総合的に振り返ります

（副専攻の本実習）

- 出身校または附属学校園において2～4週間
- 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います

小中専門教科コース及び 英語教育コース（B選択）

1年

スタート・アップ実習

- 附属小学校及び附属中学校において各1回
- 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます

2年

ブレ実習

- 附属中学校において2日間
- 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、生徒の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、生徒との接し方を学びます

3年

コア実習（中学校）

- 附属中学校において4週間
- 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や掃除の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、中学校教員としての実践力を養います

介護等体験

- 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間
- 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します

4年

フォロー・アップ実習

- 実習校において1日間
- 3年生の実習授業の見学などを通して、教科の授業を評価的に見る眼を養うとともに、学校についての理解を深めます

4年

コア実習（小学校）

- 附属小学校または教育実習協力校において2週間

教育実習総合討論

- 「教職実践演習」授業時
- 教育実習全般について総合的に振り返ります

（副専攻の本実習）

- 出身校または附属学校園において2～4週間
- 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います

教育実習・学校教育体験

特別支援教育コース

1年

スタート・アップ実習

- 附属特別支援学校等において2回
- 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます

2年

障害児教育プレ実習

- 附属特別支援学校において2日間
- 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、児童生徒の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、児童生徒との接し方を学びます

障害児教育コア実習①

- 附属特別支援学校において1週間
- 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や給食の時間など、様々な時間を通して児童生徒とふれ合い、特別支援学校教員としての実践力を養います

3年

基礎資格にかかるコア実習

- 附属小学校または教育実習協力校において4週間
- 基礎資格となる小学校免許状に必要な実習を、小学校で行います。基礎資格にかかるプレ実習、フォロー・アップ実習、ガイダンスやオリエンテーションも行います

障害児教育コア実習②

- 附属特別支援学校において3週間
- コア実習①を踏まえ、授業や学級活動などを通して児童生徒とふれ合い、特別支援学校教員としての実践力を高めます

障害児教育フォロー・アップ実習

- 附属特別支援学校において1日間
- 実習校で行われる行事への参加を通して、学校という場を様々な面から捉え、理解を深めます

4年

教育実習総合討論

- 「教職実践演習」授業時
- 教育実習全般について総合的に振り返ります

(副専攻の本実習)

- 出身校または附属学校園において2～4週間
- 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います

乳幼児教育コース

1年

スタート・アップ実習①

- 附属幼稚園において2回
- 保育を見る眼を養う第一歩として、幼稚園教育を見学し、見方や記録のしかたを学びます

2年

スタート・アップ実習②

- 附属幼稚園において2回
- 幼稚園教育の実際について実践的にその基礎を学びます

3年

プレ実習

- 附属幼稚園において1日間
- 保育を観察し、教育実習の基礎を学びます

コア実習①

- 附属幼稚園において3週間
- 様々な実習経験を通して、幼児期の発達の特徴を理解するとともに、幼稚園教育全般について学びを深めます

フォロー・アップ実習①

- 附属幼稚園において2日間
- 幼稚園の行事への参加を通して、運営の基礎を学びます

介護等体験

- 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間
- 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します

4年

コア実習②

- 附属幼稚園において2週間
- コア実習①での学びを踏まえて、教員としての幼稚園教育全般のさらなる実践力向上を目指します

フォロー・アップ実習②

- 附属幼稚園以外の幼稚園において1回
- 多様な幼稚園教育を参観し、教員としての視野を広げます

教育実習総合討論

- 「教職実践演習」授業時
- 教育実習全般について総合的に振り返ります

(副専攻の本実習)

- 出身校または附属学校園において2～4週間
- 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います

養護教諭コース

1年

スタート・アップ実習①

- 附属小学校及び附属中学校において各1回
- 授業及び保健室を参観し、養護教諭の活動について見方や記録のしかたを学びます

2年

スタート・アップ実習②

- 附属幼稚園または附属小学校・中学校において2回
- 保健室参観及び健康診断実習の参加を通して養護教諭の活動について学びます

3年

プレ実習ガイダンス（全体・個別）

- 教育実習委員長及び実習担当教員によるガイダンス
- 教育学部教員からプレ実習の目的や内容・諸注意について講話を聞きます

プレ実習

- 附属小・中学校または実習協力校において1日
- 4年生のコア実習②を参観して養護活動や児童生徒への接し方を学びます

養護実習オリエンテーション

- 実習担当教員及び実地指導養護教諭による指導
- 教育学部教員から実習の目的や内容・諸注意について講話を聞く。また養護教諭等を講師として招聘し、養護教諭の実践を学びます

4年

コア実習①

- 附属小・中学校または実習協力校において10日
- 小学校または中学校の養護教諭の養護活動全般を学びます（コア実習①とコア実習②とで小学校実習と中学校実習を入れ替えます）

コア実習②

- 附属小・中学校または実習協力校において10日
- 小学校または中学校の養護教諭の養護活動全般を学びます（コア実習①とコア実習②とで小学校実習と中学校実習を入れ替えます）

フォロー・アップ実習（行事研修 等）

- 実習校において各1日
- 小学校及び中学校の行事への参加等を通じて養護教諭の活動運営について学びます

教育実習総合討論

- 「教職実践演習」授業時
- 教育実習全般について総合的に振り返ります

（副専攻の本実習）

- 出身校または附属学校園において2～4週間
- 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います

学校教育体験

千葉大学教育学部では教育実習以外にも、インターンシップ実習やボランティア研修など教育支援活動を行う授業を設けています。教育現場での実体験を通じて教育という仕事を理解し、実践力を高めることができます。

学校インターンシップ基礎実習（選択）

2年次以降に、千葉県内の小学校、中学校、特別支援学校（教育学部附属小学校、中学校、特別支援学校を含む）、少年自然の家などで年間90時間程度の実習を行います。

小学校セレクト実習・ 中学校セレクト実習（選択）

選択履修希望者が1～2年次に、教育学部附属小学校または教育学部附属中学校で教育支援実習を行うことができます。

教育ボランティア研修（選択）

選択履修希望者が1～4年次に、学校や公立図書館・博物館・少年自然の家など様々な教育関連機関で行った児童生徒への教育支援活動を、授業として単位化することができます。



活躍する卒業生

高校教諭

小学校教員養成課程
社会科選修
(現 学校教員養成課程 小学校コース 社会科選修)

出身高校 千葉県立船橋東高等学校

仁平 太郎 (千葉県出身)



小学校教諭

学校教員養成課程
小中専門教科コース
音楽科教育分野

出身高校 千葉県立佐倉高等学校

後藤 ゆりあ (千葉県出身)



なぜ、千葉大学教育学部へ？

千葉県の教員を志すことは決めていたのですが、校種をどうするのか決めきれずにいました。そうした中で参加したオープンキャンパスで、千葉大学は小中高全ての校種の免許状を取得することができることを知り、千葉大学教育学部を志望しました。また、総合大学の特性を活かし、専門教科以外にも幅広い分野の授業を受講することができること、地元である千葉県と連携した取り組みを多く行っていることも志望理由の一つです。

高校生のときから、漠然と教員になりたいという気持ちがありました。小学校の先生になるための教育課程は勿論、その他にも自分の学びたい教科を中心に学ぶことができると思い、志望しました。私は音楽について大学で学びたいと思っており、千葉大学には専門的な知識や技術がある先生方がいらっしゃるの、そのような先生方から教わることで自分の専門性を高めることができると思いました。

千葉大学の魅力は？

教育現場を実際に見て学ぶことができる機会が豊富なことです。附属小学校での授業見学では、一人一台端末を、教科書やノートと大差なく使いこなしているところを間近でみることができ、教育現場の変化を実感することができました。

また、教員採用試験に向けたサポート体制が充実している点も大きな魅力です。教職サポートルームがあり、相談員の方々に、志望理由書の添削や面接指導など、手厚くサポートしていただきました。

小学校の教員免許だけでなく、自分の専門にしたい教科の中学校や高等学校の免許も取れることです。同じ学部の学生がたくさんいるので将来の夢に向けてお互いを高め合えます。また、私は司書にも興味があったので司書資格に必要な他学部の授業も受けることができました。他学部の仲間もでき、卒業後も関わる機会があります。自分を教員の外側から見つめるよききっかけになっており、総合大学ならではの魅力だと思います。

大学の授業はどうでしたか？

どの授業も専門的で充実した内容でした。大学時代に小学校課程で学んだ授業づくりや指導方法を、高校教員になった今でも実践しています。また、教養科目で他学部の学生と一緒に受講した講義も、教材研究に必要な多角的な視点を持つために、とても役立っています。大学での様々な授業を通じて、教員としての知見を深めるとともに、学び続けることの大切さを痛感しました。

一番印象に残っているのは、選修の教科の授業です。毎週個人でピアノの演奏法を指導していただきました。卒業試験に向けて一曲を仕上げることは自分にとって大変なことでしたが、4年間の積み重ねがあったので、乗り越えることができました。この経験は教員としての糧になっています。他にも模擬授業を行い学生同士で見合ったり、教授に見ていただきアドバイスをもらったりと実践的な授業もたくさんありました。

どんな学生生活でしたか？

社会科教員としての専門性を身につけるため、様々な授業を受講しました。研究室も複数の研究室に参加して視野を広げることで、自分の関心のある学問分野を明確にすることができました。また、部活動にも力を入れ、自分たちでPDCAサイクルをまわす中で、他者と協働する力を身につけることができました。大学の部活動の仲間は、教師になった今でも定期的に連絡を取り合い、切磋琢磨することができる貴重な存在です。

とにかく様々なことをしたいと思い、部活やアルバイト、短期留学、たまたまプロジェクトなどたくさんのご事にチャレンジしました。部活動は長期休みも含めてほぼ毎日活動がありました。チームの仲間と同じ目標に向かって練習をした日々は授業では得られない経験となりました。最後の学生生活で得た多くの体験は、教員になって子どもたちに自分の経験を伝える際の話題の一つになります。

どんな教師になりたいですか？

社会科好きな生徒を育てることができる教師になりたいと考えています。社会科の物事を多面的・多角的に捉える見方・考え方の面白さを、授業を通じて生徒に伝えられるよう、日々教材研究に励んでいます。また、授業以外の部分でも生徒やその保護者から信頼される教師になりたいと考えています。常に誠実な姿勢で生徒と向き合い、確かな信頼を得られる教師を目指していきたいと考えています。

子ども一人一人の成長をサポートできるような教師になりたいです。教師の魅力は子どもと共に感動できる瞬間を味わえることだと思います。日々の生活ではなかなかゆとりをもてないことも多々あります。しかし、この瞬間を子どもと味わえることをやりがいとして子どもたちの学びが豊かになるにはどうすればよいか教材研究を行ったり、子どもたちへの声かけなどを考えながら過ごす日々は充実した時間となっています。

受験生にひと言

教師はとても魅力的な職業です。昨今、教師について様々な情報が発信されており、進路選択に悩む方も多いと思います。実際に教師として働き、人の人生に関わることの責任の重さを感じることはありますが、それ以上に生徒の成長を実感できたときの達成感、教師でしか味わえないものだと強く思います。教育学部の受験を考えている皆さんは、少なからず教育に興味がある方だと思います。いつか、学校現場でお会いできる日を楽しみにしております。

教師の仕事は大変なこともあります。子どもの成長を間近で感じることで、とても働きがいがある職業だと思います。教師になるために大学で過ごした日々やそれまでの努力は今の自分にとってかけがえのないものとなっています。今学んでいることや過ごしている日々が人生の一部になります。私もこれからも学び続けていきます。これからの皆さんの人生が明るくなることを願って、応援しています。

全員留学

千葉大学は、学部生・大学院生ともに留学を必修化しており、世界を舞台に活躍する学生を応援しています。本学に在籍したまま海外の協定校へ留学生学生交流をすることが可能で、語学力の向上や国際理解、自己成長のためにも、非常に貴重な体験となることでしょう。詳しい情報は千葉大学HP や千葉大学教育学部HP をご覧ください。以下のプログラムは、教育学部で行っているものです。

スウェーデン・インクルーシブ教育研修

学校教員養成課程 特別支援教育コース

出身高校 私立昭和学院秀英高等学校

井上 奏和 (千葉県出身)

千葉大学ではENGINEサポートという制度があり、費用の一部を支援してもらえるため、より充実した活動をすることができます。私が参加したプログラムでは、現地学生との交流の場があり、帰国後も彼らとSNSを通じて話しています。 Lund大学の学生は日本を大好きな人が多く、アニメの話や、平仮名・漢字を披露してくれます。英語が話せないから留学はちょっと怖い、と思うかもしれませんが、でも、ジェスチャーや翻訳アプリを使いながら「いけるかも」と思った時は積極的に英語で話すことで自信が付き、抵抗感がなくなっていきます。留学前は、まさか一人で、英語で買い物ができるなんて想像もしていませんでした。仲の良い友達と一緒に参加するのもよし、一人で参加して先輩や他コース学生と友達になるのもよし。他コースの先輩とじっくり話すことなんてなかなかありません。是非様々な人との交流の機会に！



ツイン型学生派遣プログラム (ツインクル)

学校教員養成課程

英語教育コース

出身高校 愛媛県立新居浜西高校

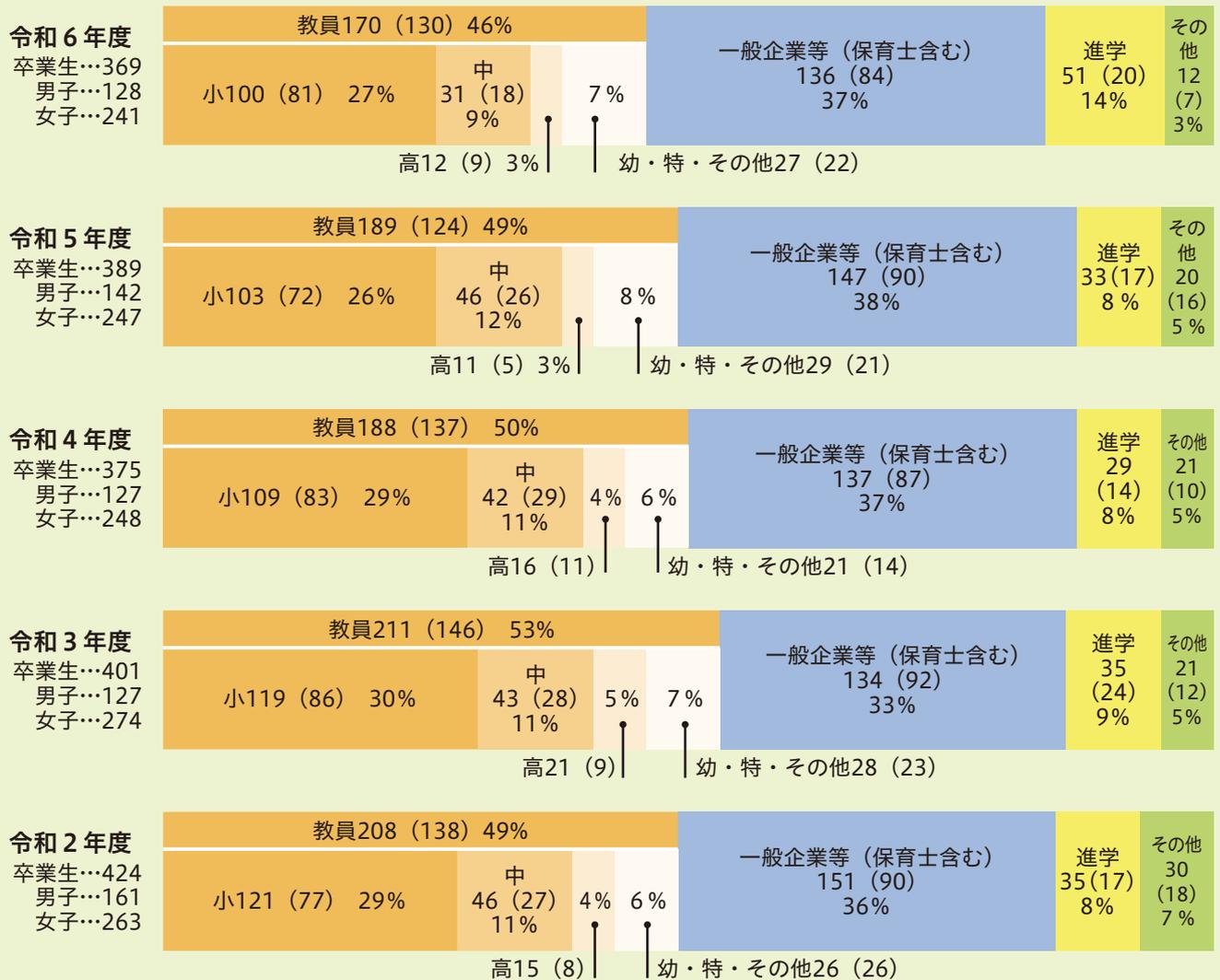
横川 愛実 (愛媛県出身)

ツインクルプログラムは、ASEAN地域の大学に赴き、現地の中学校や高等学校で日本の最先端の科学技術や文化に関する授業を行うプログラムです。さらに、現地の大学生との交流や観光を楽しむことができる約2週間の留学プログラムとなっています。このプログラムでは、グループで授業をし、かつ、留学前の交流提携校の学生との交流で派遣先の大学の学生と事前に友達になることができるため、授業や英語に自信がない人、初めて海外に行く人にもおすすめです。加えて、渡航先以外のASEAN諸国の大学生とも交流を深めることができ、さまざまな国について学び、関心を持つ良い機会にもなります。

私はこのプログラムを通して友達がたくさんでき、自分自身の世界を広げることができました。興味がある人はぜひ参加してみてください！



卒業後の進路状況（過去5年間）



多くの卒業生が教員として活躍 —手厚いサポート体制—

多くの卒業生が教師として千葉県をはじめ全国で活躍しています。校長経験者から直接指導を受けられる「教職サポートルーム」や各種セミナーなどで、将来の就職や進路に関する活動を手厚くサポートしています。



大学院でスキルアップ —教育現場で必要とされる専修免許状取得へ—

千葉大学教育学部卒業後、千葉大学大学院教育学研究科に進学しスキルアップを果たしている先輩も大勢います。本学の教育学研究科は、「修士課程」「専門職学位課程」の2課程から成り、専門性と実践力を高めます。さらに、東京学芸大学大学院連合学校教育研究科（後期3年だけの博士課程で、東京学芸大学を基幹大学とし、埼玉大学・千葉大学・横浜国立大学との連携協力の下に組織された連合大学院）へと進学することにより、体系的に継続して研究を進めることができます。

入試情報・過去の志願倍率

入試情報（令和8年度入試）

コース	総合型選抜	前期
小学校コース	●	●
中学校コース	●	●
小中専門教科コース	●	●
英語教育コース	●	●
特別支援教育コース	●	●
乳幼児教育コース	●	●
養護教諭コース	●	●

※教育学部の全コースで、総合型選抜を行います。
 ※一般選抜では、教育学部の全コースで前期日程入試を行います。後期日程入試は行いません。
 ※詳細については、入学者選抜要項やそれぞれの募集要項をご参照ください。

過去3年間の入試志願倍率

年度・種類 コース・選修・分野	令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	前期日程	総合型選抜	前期日程	総合型選抜	前期日程	総合型選抜	
小学校コース	国語科選修		4.0		4.5		3.0
	社会科選修		1.5		2.3		3.5
	算数科選修		4.5		3.7		3.3
	理科選修	2.4	3.5	2.6	1.8	2.6	1.7
	教育学選修		5.3		3.3		4.8
	教育心理学選修		3.0		5.8		5.5
	技術・ものづくり選修		1.7		1.3		1.0
中学校コース	国語科教育分野	2.5	5.5	3.3	7.5	3.3	4.5
	社会科教育分野	4.0	8.5	5.6	8.0	4.6	7.0
	数学科教育分野	5.4	7.5	3.9	9.5	7.1	7.5
	理科教育分野	3.0	0.5	3.3	2.5	2.3	6.0
	技術科教育分野	1.6	1.5	1.4	1.5	4.4	4.0
小中専門教科コース	音楽科教育分野	1.4	2.0	1.8	3.4	1.1	2.6
	図画工作・美術科教育分野	1.0	0.7	1.8	2.0	1.8	2.3
	保健体育科教育分野	1.9	3.2	3.0	4.4	2.7	5.8
	家庭科教育分野	2.2	2.7	1.7	0.3	2.4	2.2
英語教育コース	1.8	2.2	1.8	3.1	2.8	2.9	
特別支援教育コース	2.5	1.7	2.4	1.6	3.9	1.3	
乳幼児教育コース	1.8	3.8	2.0	5.6	2.3	6.2	
養護教諭コース	2.0	5.0	2.5	5.6	2.6	6.2	
計	2.3	3.2	2.5	3.6	2.8	3.7	

※前期日程入試では、小学校コースにおいては、7選修を1つの選抜区分として選抜を行っています。

関連組織・教育研究施設の紹介

関連組織

附属学校園

附属の学校として、幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校があります。これらはすべて千葉市内、そして特別支援学校以外は学部と同じ西千葉キャンパス内にあります。

附属学校は、一般公立学校と同様に幼児、児童、生徒の教育を行っていますが、さらに附属学校の独自性として、

- ①教育実習生の指導
- ②教育研究開発
- ③地域教育界への貢献

という役割を担っています。

こうした役割があるために、附属学校教員と学部教員との連携協力が活発に行われています。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

教員養成開発センター

教員養成開発センターは、教員養成ならびに教員研修に関わる研究・教育、事業を行うことを目的としています。右の7つの内容を中心に、事業毎にプロジェクトを立ち上げ、学部教員や関係機関と連携しながら活動を進めています。

①現職教員研修に関する事業

- ・長期研修生（委託研究生）への支援
- ・教員免許状更新講習／免許法認定講習の実施運営
- ・教員研修に関する研究

②教育研究 グローバル化 推進事業

- ・ASEAN地域の学校への学生派遣

③ICT教育研究に関する事業

- ・ICT教育の研究と研修に関する支援

④地域教育貢献に関する事業

- ・高大連携事業への協力
- ・県内高校（教員基礎コース）への支援

⑤全学教職支援に関する事業

- ・教育学部以外の教員免許状取得を目指す学生への支援

⑥産官学連携教育推進事業

- ・産業界や地方自治体・教育委員会・学校との連携

⑦その他

- ・教員研修講師
- ・教育相談、学習方法に関する学校支援
- ・学部、大学院での授業



現場教師と学生が学び合う授業

教育研究施設の紹介

アカデミック・リンク・センター（附属図書館）

“考える学生の創造”を目指し、2012年3月にオープンしたアカデミック・リンク・センター。

「空間＝〈アクティブ・ラーニング・スペース〉」「コンテンツ＝〈コンテンツ・ラボ〉」「人的サポート＝〈ティーチング・ハブ〉」の3つの機能により、多様な学びのきっかけを提供します。

図書館機能の高度化を図り、新たな学習環境をつくりだしました。



運動施設



陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、野球場、プール、ゴルフ練習場、第一体育館、第二体育館、武道場などがあります。

以前は土だったサッカー・ラグビー場は、広域避難場所災害防災拠点の整備、並びに学内施設の充実を目的として人工芝が敷かれました。

English House

リラックスした雰囲気の中で自分のペースで語学を学び、練習できる空間です。英会話の個別レッスン（対面またはオンライン）や、さまざまなワークショップに参加して、語彙、リスニングの能力を高めることや留学、外国語検定試験などの準備に役立てることができます。

また、海外の文化を体験し、日本人学生と留学生が交流できるさまざまなイベントを開催しています。





教育学部HP



千葉大学HP

千葉大学教育学部の最新情報は本学部ホームページをご覧ください

<https://www.education.chiba-u.jp>

千葉大学教育学部の入試に関する情報や学生募集要項の請求は、以下にお問い合わせください

千葉大学教員養成系総務・学務課 学務室入試係
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 TEL : 043-290-2515

千葉大学ホームページでも情報を提供しています

<https://www.chiba-u.ac.jp/>